

平成 19年 9月 4日

千葉県知事 堂本 暁子 様
千葉市長 鶴岡 啓一 様

J F E スチール株式会社 頂上報

平成 17 年 2

管理資格者を配置しました。各工場での環境保全活動の推進担当者として実施すべき業務内容を環境管理マニュアルに定めるとともに、定期的な環境管理部との連絡会議により、環境関連情報を共有するとともに各担当者の活動をフォローしています。

平成 18 年度は、千葉地区内において 161 名が受験し、62 名が合格しました（合格率 39%）。今後とも公害防止管理者資格取得推進を通じて、環境保全の意識と知識の定着に努めてまいります。

2. ダスト精錬炉及びその関連施設におけるシアン対策

(1) ダスト精錬炉周辺の土壌・地下水の調査状況

ダスト精錬炉より発生したシアン化合物による施設周辺土壌、及び地下水への影響について調査するために、ダスト精錬炉周辺の表層部の土壌と表層水のシアン化合物を分析しました。調査の結果、ダスト精錬炉周囲の土壌表層部と表層水でシアンが検出されました。

深度方向の汚染状況を把握するために、ボーリング調査を実施しました。その結果、土壌・地下水ともに、地表面より約 7.8m の深さまで汚染が確認されました。また、ダスト精錬炉周辺の土質調査の結果より、深さ約 15m の位置に不透水層が存在し、今回の汚染がこれよりも浅い範囲に限定出来ることが判明しました。

更に、ダスト精錬炉周辺を汚染したシアン化合物の西六号線排水口への排出経路を確認するため、周辺の地下構造物を調査しました。この結果、従来から判明していた雨水によるシアン化合物の排出経路以外に、地下に埋設されている地下水集水用のポラス管による排出経路があることが判明しました。

ダスト精錬炉周辺の土壌・地下水の浄化について、試験揚水井による適正揚水量等の事前調査結果を基に浄化計画を作成し、平成 18 年 7 月 20 日に千葉県・千葉市殿に事前協議書を提出しました。10 月 24 日に千葉県・千葉市殿の審議が終了し、現在、揚水設備の設置等の工事を実施中です。浄化作業を開始後、速やかに汚染範囲の外周部に設けた観測井において定期的にシアン化合物濃度を確認する予定です。

(2) H₂S, H₂S₂ 及び H₂S₃ の発生防止対策等に関する事項

ダスト精錬炉より発生したシアン化合物含有スラジ類をリサイクル目的で一時的に仮置きしていたヤード、及びシアン化合物を含有した排水の流路となっていた素堀側溝について、土壌表層部と表層水を調査した結果、調査範囲の一部にシアン化合物による汚染があることが判明しました。

固化ヤード及び素堀り側溝に関して、シアン化合物含有スラジ類による汚染範囲の特定を完了いたしました。千葉県環境問題対策専門委員会の委員の先生方より、固化ヤードの範囲内において汚染状況の深度方向の調査および地下水の流向調査について実施するようご意見をいただきましたので、調査計画を立て、現在調査を実施中です。

原料ヤード内の保管場所に関しても、シアンによる汚染範囲の特定は完了いたしました。現在、原料ヤードからのシアン流出を監視するため、西七号線排水口系統の道路排水枡近傍に観測井を設置し、定期的にシアン化合物濃度を確認する予定です。

これらの土壌・地下水汚染対策について、千葉県・千葉市殿のご指導を仰ぎながら検討・実施していく予定です。

3 . 排水溝におけるその他の基準超過対策の進捗

資料 1 にて、排水溝における基準超過項目についての原因と対策、及び平成 19 年 7 月 31 日現在の進捗をご報告いたします。

4 . その他